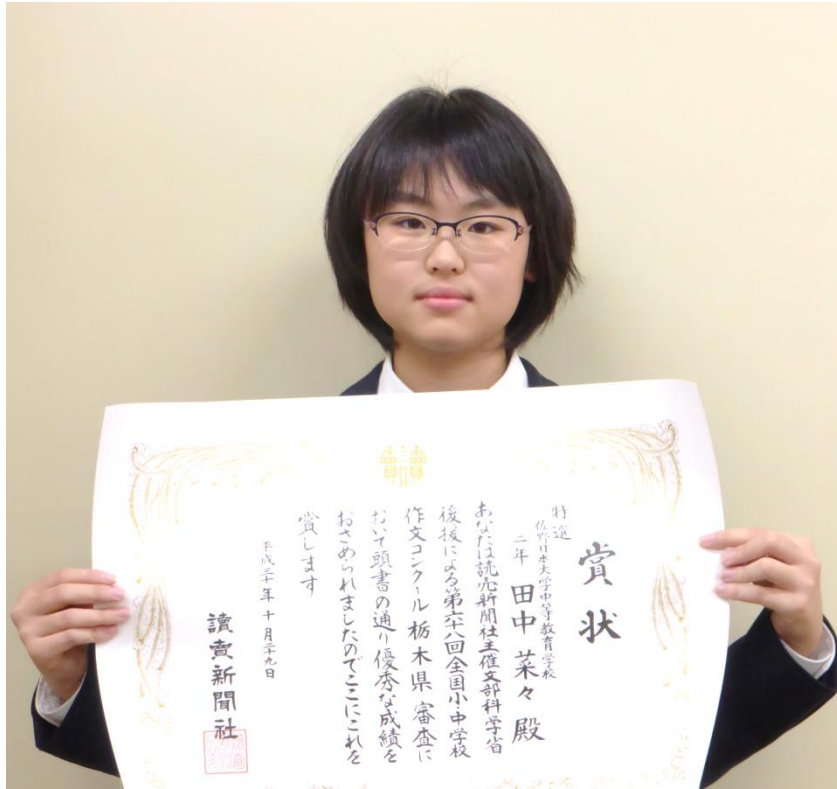


# 作文コンクール県最優秀賞 受賞！

## 第68回小中学校作文全国大会へ 田中菜々 さん



第68回全国小・中学校作文コンクール（読売新聞社主催）の栃木県審査会において、田中菜々さん（2年生）の作品が最優秀賞に輝き、全国大会にあたる中央審査会に出品された。

田中さんの作品は「祖父と祖母の絆の間に」と題して、昨年10月に亡くなった祖父の新盆を機に祖父母の間に続く絆を感じた出来事をつづったもので、普段の読書に裏打ちされた叙情的な表現が活かされたものとなっている。

今年のコンクールには、小学校低学年、同高学年、中学校の3部門に栃木県内から合計1,970点の応募があったが、各部門の最優秀賞1点（計3点）のみが中央審査会に出品されるという、非常に難易度の高い作文コンクールである。

受賞された田中さん、および指導にあたった長谷川教諭、本当におめでとうございます。

（10月29日）